

## 2. 公務員試験を知ろう！



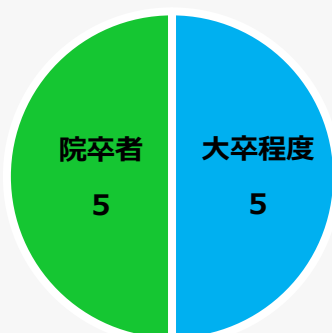
## 第2部. 公務員試験を知ろう！

第2部では、内定者10名による国家公務員総合職試験の勉強・対策方法をお伝えします。なお、本冊子に記載している試験方法や内容は、令和5年度入省内定者が受けた試験について述べたものであり、次年度以降の試験とは異なる可能性があります。

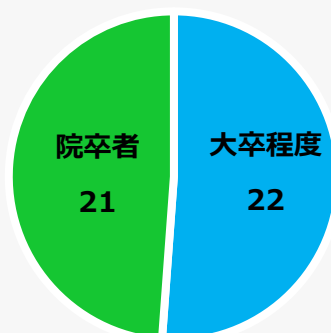
また、第1部同様に内定者10人の体験談を紹介しています。勉強方法や勉強スケジュール等については、内定者個人の見解に過ぎない点をご了承下さい。あくまでも、本冊子は参考としてご覧いただければ幸いです。

### □ 試験の種類 大卒程度/院卒者

令和5年度入省内定者

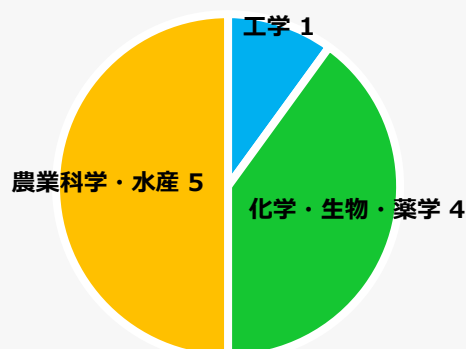


過去5年間

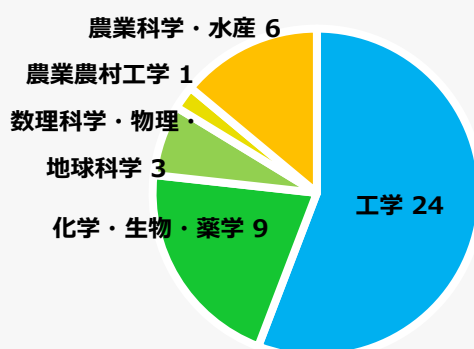


### □ 試験区分

令和5年度入省内定者

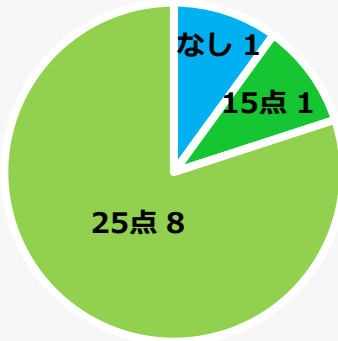


過去5年間

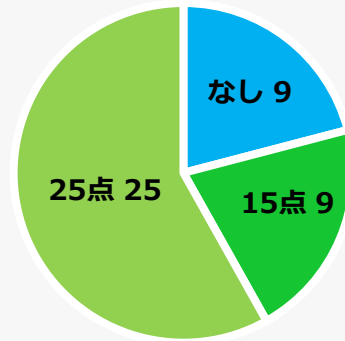


□ 英語加点の有無

令和5年度入省内定者

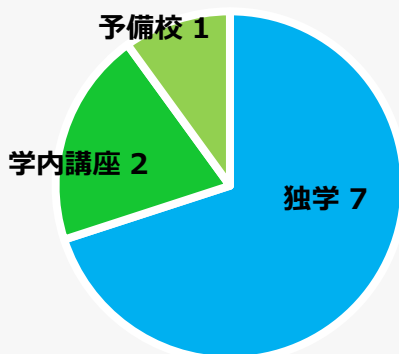


過去5年間

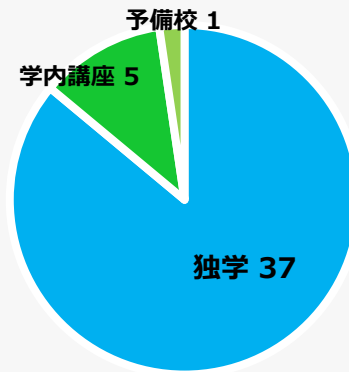


□ 勉強方法

令和5年度入省内定者

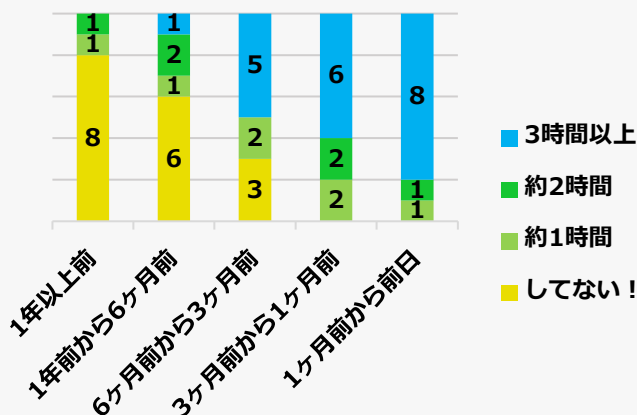


過去5年間

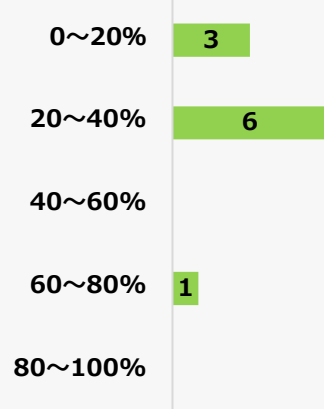


□ 1次試験までの勉強時間と席次

時期別の勉強時間



席次（上位～%）



## □ 国家公務員総合職試験の概要

試験区分には、大卒程度試験と院卒者試験の2区分に加え、専門科目による区分が存在します。また、試験は大きく2つに分けられ、「1次試験（マーク式試験）」、「2次試験（記述式試験 + 政策試験 + 人物試験）」があります。これらの筆記試験の過去問は人事院に請求することで入手できます。

2015年度の試験から、所持しているTOEFL (iBT)、TOEIC、IELTS、英検のスコアに応じた得点が試験の総得点に加算されるようになりました。例えばTOEICなら600点以上で15点の追加、730点以上で25点の追加です。詳細は人事院のWebサイトをご確認下さい。

### 1次試験

#### 基礎能力試験

いわゆる教養試験で、大卒40題、院卒は30題です。問題は多岐に渡っており、国語力や英語力、頭の柔らかさ、知識力などが試されます。マーク式です。

#### 専門試験

マーク式で、大卒も院卒も共通の40題です。選択する専門区分によって形式が異なるのでよく確認が必要です。

### 2次試験

#### 専門試験

完全記述式です。基本的には、複数の分野から1~2問選択して回答します。理工系においては専用の参考書などはあまりないので、大学の定期試験、院試、過去問や専門書による勉強が中心となります。

#### 政策論文（大卒程度）

専門試験と同じ日に行われる試験です。出題されたテーマに対し、与えられた3つの資料を使いながら、A4裏表1枚に自分の考えをまとめていきます。配布資料は文章とグラフの両方が与えられ、英語の資料が用いられる場合もあります。

#### 政策課題討議（院卒者）

専門試験とは別の日に行われる試験です。配布される和文・英文の資料に目を通し、自分の意見などを加えた討論用のレジュメを作成します。グループ全員にレジュメを配布し、意見発表、集団討論、もう一度発表、という手順で行います。

#### 人事院面接

当日までに面接カードを記入して、基本的にその内容に沿って質問される個人面接です。面接時間はおよそ10~20分程度で、面接官は3人です。

### 官庁訪問

#### 官庁訪問

見事2次試験を合格し、最終合格した人は採用名簿に掲載され、官庁訪問を受けることが可能になります！最終合格=採用ではなく、採用されるためには官庁訪問で各府省から個別に内定を貰う必要があります。

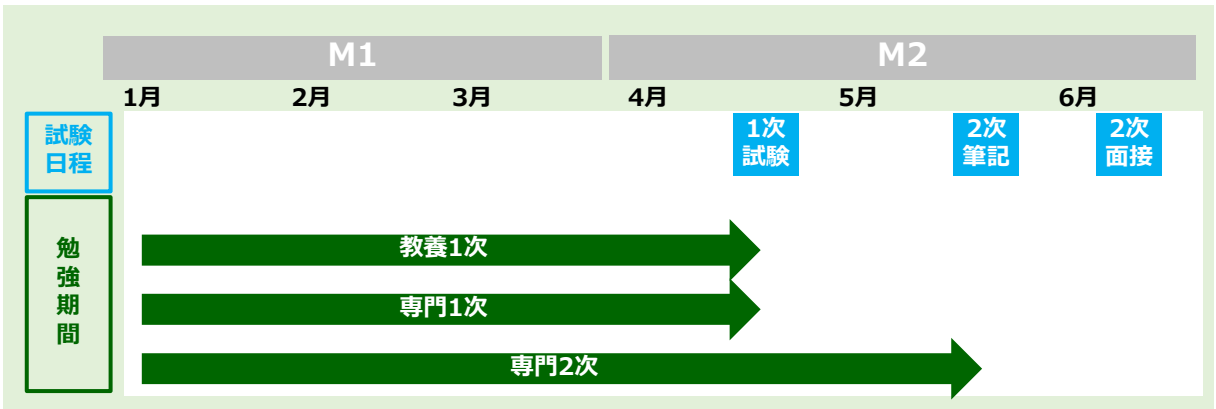
名簿は3年間有効かつ、技術系区分では既合格者向けに追加で官庁訪問の機会もあるため、少しでも興味があるのなら前年度から積極的に試験を受験することをおすすめします。

官庁訪問の詳細については第3部で説明します。

# No.1 翠

区分：農業科学・水産（院卒者）  
 合格年度：2022年度  
 大学：東京都/農学生命科学研究科/水圏生物科学専攻

## ● 勉強スケジュール



## ● 各試験の勉強量バランス



独学です。政策討議は何すればいいかわからなかったので対策していません。教養がボロボロだったので比較的時間を割きましたが、足切り回避してれば問題なかったのここまで割く必要はなかったです。国家総合職単願だったのでES作成にはだいぶ時間を割きました。因みに専門は農業科学・水産の水産を選びました。

## ● 試験結果

席次：上  
 英語加点：あり（25点）

**成功談**

専門が院試と被っていたので比較的楽でした。面接対策に多めに時間を割いたので、本番は比較的緊張せずに済みました。

**失敗談**

教養に時間を割き過ぎたこと。足切りに引っかけるといけないかと警戒しすぎました。

## ● 利用して良かったもの

- ・ 人事院から取り寄せた過去問
- ・ 大学のキャリアサポート室
- ・ 『水産海洋ハンドブック』

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

「過去問解きまくり！」という多分定番の参考書を使って数的推理・判断推理と文章理解（1～3巻）だけを周回していました。他の知識系と時事は完全に捨てました。とりあえず1問でいいから毎日触っておくくらいの気持ちでした。

### 専門1次

（農業科学・水産（うち水産））

人事院から取り寄せた過去問を解いて水産海洋ハンドブックとインターネット検索で選択肢を総洗いしてノートにまとめました。水産海洋ハンドブックのうち本命の分野（自分の場合水圏環境と水産生物と水産資源管理）は片っ端から読んでノートにまとめました。あとはそれを暗記！！

### 専門2次

（水圏環境学・水産生物学）

専門1次と2次は特に区別して考えていませんでした。専門科目は当日に2つ選べるので、3つくらい対策しておくといいかもしれません。個人的には専門1次と比べ簡単だった気がします。

### 政策論文・政策討議

政策討議でしたが何もしていません！！！！どうせお題は予想しきれないし人事院面接の前座くらいに捉えて、ここでD判定でもテストで補おうくらいの気持ちでした。自分を主張しようとせずに、周りの人たちと楽しく会話しよう！くらいの心持ちだといいと思います。先輩とかでも対策してた人はほとんどいませんでした。民間のグループディスカッションが結果的に練習になっていたくらいでしょうか。

### 人事院面接

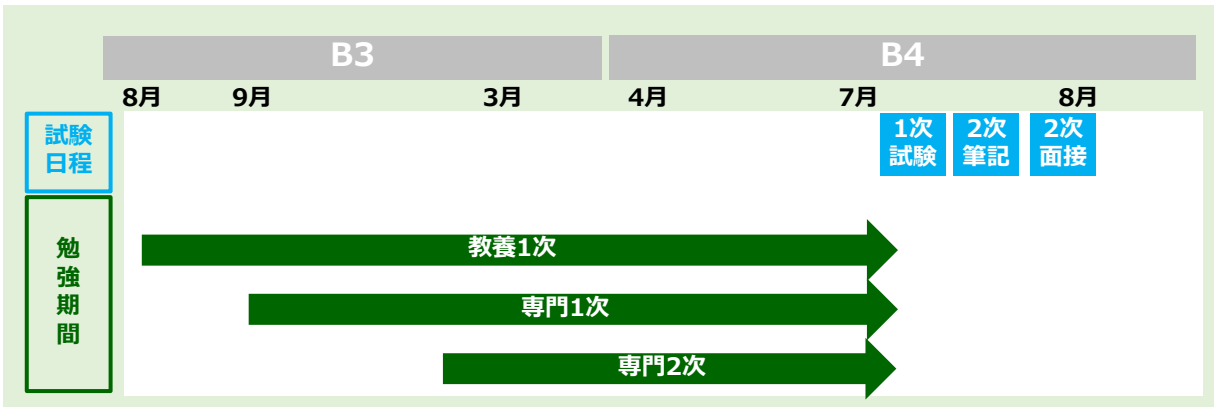
大学のキャリアサポート室に非常にお世話になりました。年明けくらいからESを作り始め、2月に完成、一旦保留、教養試験終了後再開といった感じでした。私を担当してくださった人事院の方は非常に優しく、緊張をほぐそうと優しい雰囲気始めてくださったので、そんなに緊張しなくていいかもです。



# No.2 水素

区分：工学（大卒程度）  
 合格年度：2020年度  
 大学：広島県/先進理工系科学研究科/先進理工系科学専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 30	専門 50	論文 5	面接 15
----------	----------	---------	----------

専門科目以外については、大学生協の公務員講座を受講していました。講座の授業をペースメーカーとしながら、講座のテキストと過去問演習をしていました。専門科目については、独学で過去問演習に取り組みました。政策論文は講座のみで対策しました。

## 試験結果

席次：上  
 英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- 『速攻の時事』
- 『スーパー過去問ゼミ』
- 『国家総合職教養試験過去問500』



### 成功談

大学の専攻と試験科目が共通だったため、大学の教科書を参考に過去問の解答確認が出来ました。



### 失敗談

政策論文の対策をほとんどしていなかったため、書き方のルールなどをしっかりと把握できていませんでした。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

学内講座のテキストをメインに演習し、更に過去問演習にも取り組みました。文章理解については、現代文と英語を1日1問ずつ必ず解き、長文速読に慣れるようにしていました。数的処理については、1問3分-4分で解けるようにするのを目標として演習を重ねました。その他の科目については、講座のテキストを浅く広く対策しました。

### 専門1次

(機械力学、材料力学、熱力学、流体力学)

必須問題・選択問題ともに、確実に解ける問題を見極められるようになるため、ほぼすべての問題の模範解答を作っていました。問題の中には、1問に20分-30分かかるとなようなものもあります。難しい問題を後に回し、確実に解ける問題から解くための訓練をしていました。

### 専門2次

(機械力学、材料力学、熱力学)

私の受験した年は専門2次が無かったのですが、参考までに対策の方法を記します。専門2次の過去問に加え、大学院進学も考えていたため、大学院の過去問を解いていました。問題傾向が異なる部分もあったため、1次試験予想獲得点から逆算し、専門2次を突破するために必要な問題を解けるレベルまでマスターすることを目的として勉強していました。

### 政策論文・政策討議

政策論文の対策は、学内講座の授業や模試を活用していました。添削をしてくれるサービスはあまりないため、模試を活用することはよい対策だと思います。日頃からニュースや新聞を読み、政策論文のネタになるような時事の収集をしていました。

### 人事院面接

面接カードの添削や面接練習を、学内講座の講師にしてもらいました。入退室のマナーから指導して頂くことが出来ました。コロナ禍でオンライン面接が増えていますが、対面での面接のマナーは重要ですので、本などで一度確認しておくともよいかもかもしれません。





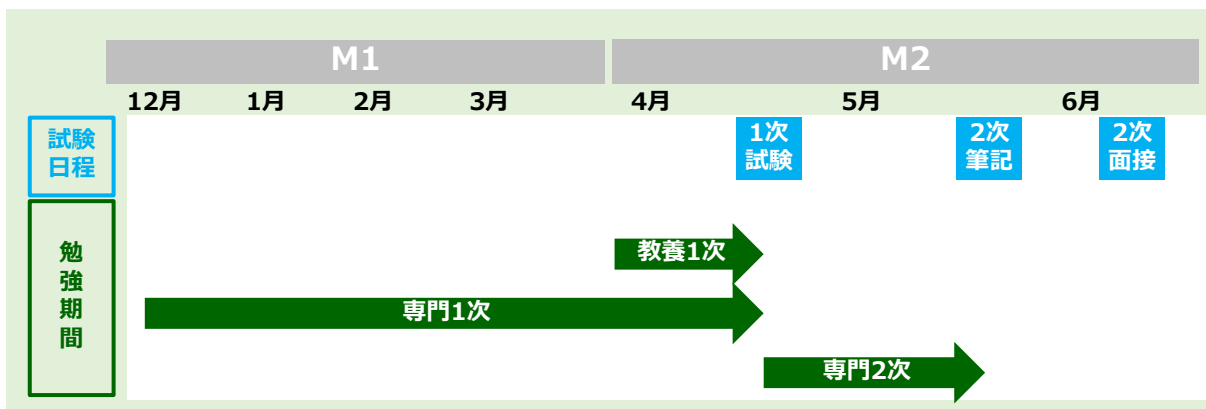
# No.3 たねまる

区分：化学・生物・薬学（院卒者）

合格年度：2022年度

大学：神奈川県/理工学研究科/基礎理工学専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養  
10

専門  
80

政策  
討議  
5

面接  
5

独学で勉強を進めました。院試を経験しなかったため専門分野ではない有機化学や化学工学に不安があり、専門1次の勉強に大部分の時間を割きました。教養は直前の詰め込みで間に合わせました。民間就活をしていたので、政策討議や面接のための対策はほとんどしませんでした。

## 試験結果

席次：中

英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- 『新スーパー過去問ゼミ 化学』
- 『見える！使える！化学熱力学入門』
- 『アトキンス物理化学』



### 成功談

民間就活の面接やグループディスカッションの経験が大いに活かしたこと。ニュースを見ていたのも政策討議に役立ちました。

### 失敗談



専門2次の勉強を始めたのが1次の後になってしまったこと。自分の分野に近い科目とはいえ、2次の勉強はそれなりにハードでした…

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

あまり時間を割きたくなかったので、試験2週間前から詰め込みで12年分くらい過去問をさらいました。判断・数的推理は問題によってかなり難易度に差があり、得意不得意も出ると思うので、できなかつたら潔く諦めて次に進むのが大切だと思います。その代わり前半の読解と英語の問題はなるべく落とさないように勉強しました。

### 専門1次

(数学・物理、基礎物理化学・基礎無機化学、物理化学・無機化学、有機化学、工業化学・化学工学)

12月頃から『新スーパー過去問ゼミ』を2周程度解いたのと、熱力学の補填として『見える！使える！化学熱力学入門』を読んでいた。その後3月くらいから過去問を解き始めて、最終的に15年分くらい解きました。最大6科目まで選べるので、できれば分析化学・薬化学も勉強したかったのですが、戦力になるほど勉強できませんでした…。

### 専門2次

(熱化学、無機化学)

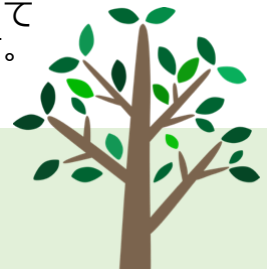
大学院の専門分野に近い科目を選び、過去問を10年分くらい解きました。専門1次のときに使った参考書と『アトキンス物理化学』『シュライバーアトキンス無機化学』を参考にして解答を作成しました。熱化学は決して得意ではなかったので解答の作成がとても大変でした…。過去問を吟味してから解く科目を決めると良いと思います。

### 政策論文・政策討議

民間就活で何度かグループディスカッションを経験していたので政策討議についてはニュースを見たり新聞を読んだりする以外は特に対策をしませんでした。本番ではニュースで出てきた話題について偶然出題されて、意見をまとめやすかったです。またディスカッションの雰囲気厳かで緊張しました。ディスカッションや面接は場数を踏むのが大切だと思います。

### 人事院面接

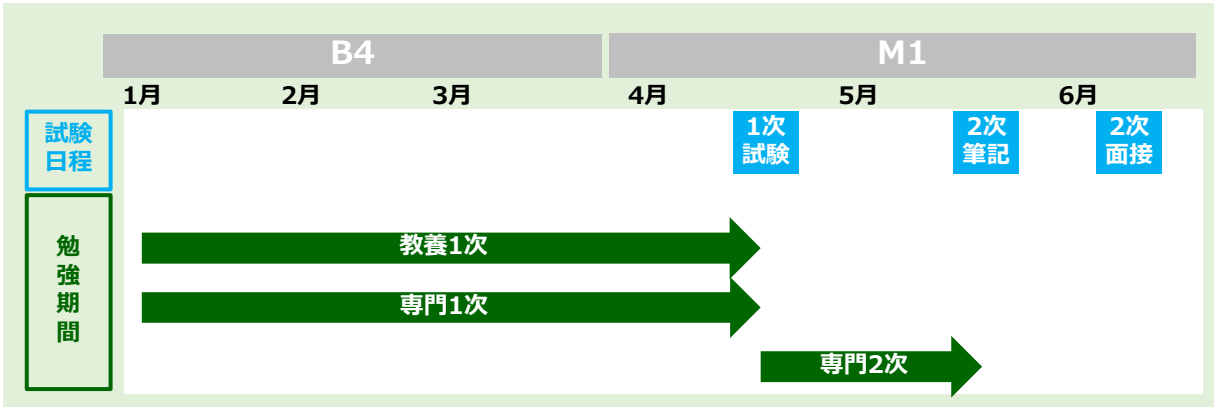
同様に民間就活で対面の面接を何度か経験していたので、自分のアピールポイントなどは頭に入っていて、普段どおり挑むことができたと思います。特に変わったことや困るようなことは聞かれませんでした。事前に提出する書類に沿ってある程度論理的に話すことができれば大丈夫だと思います。



# No.4 Rstudio

区分：農業科学・水産（大卒程度）  
 合格年度：2021年度  
 大学：東京都/海洋科学技術研究科/海洋管理政策学専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 40	専門 40	論文 10	面接 10
----------	----------	----------	----------

とにかく過去問を解きまくりました。わからない事があれば白書や水産海洋ハンドブックなどで調べ、知識を積み上げていく感覚でした。勉強量の目安ですが、春休みなど時間があるときは1日あたり10時間くらい、研究や講義で忙しい時期は3~4時間くらいを目安に勉強していました。

## 試験結果

席次：中  
 英語加点：なし

## 利用して良かったもの

- 『国家総合職教養試験過去問500』
- 『水産海洋ハンドブック』
- 『水産白書』

**成功談**

M1の頃に受験をしたので、精神的にかなり余裕がありました。M2では企業の選考も受けることができるのもメリットです。

**失敗談**

公務員試験の方に時間を割きすぎて、修士論文の進捗がまずくなってしまったこと。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

『国家総合職教養試験過去問500』を一通りやることで対策しました。ボリュームが多いためこれ一冊やっておけばよほどの事が無い限りは対策不足に陥る事はないと、個人的には思います。私が対策を行ううえで最も意識した事は、制限時間をつけて問題を解く事です。試験の本番は時間との勝負なので、時間内に解く練習をする事で確実に問題を解ききれるよう対策しました。

### 専門1次

(水産経済学・水産経営学、漁政、漁業学・水産資源学、水産海洋学・水産環境保全等)

水産海洋ハンドブックに付属する過去問を使って対策しました。わからない点があればすぐに水産白書や水産海洋ハンドブックで調べ、知識を蓄えていった感じです。問題で聞かれている事から一步踏み込んだ知識まで調べる事を大切にすると、より強力な対策になると思います。

### 専門2次

(増養殖学、水産資源学)

こちら水産海洋ハンドブックの過去問で対策しました。また私は専門が水産学だったので、大学の講義でとったノートや配布された資料が大いに勉強の助けになりました。専門が試験分野と被る学生は多いと思うので、その強みを活かし受験に臨むといいと思います。

### 政策論文・政策討議

政策論文は大学のキャリア支援センターに連絡し、過去問を使って添削をしてもらいました。政策論文ではとにかく文章が論理的か否かが重要なので、提示された資料の分析から自分の提案まで、とにかく理詰めでも思考し文章を考える事を大切にしました。

### 人事院面接

こちら大学キャリア支援センターの方に模擬面接をしていただきました。いくら脳内でシミュレーションしたとしても実際に人前で話すのは緊張するので、誰かを相手にして自分の言いたいことを話す練習はしておいたほうがいいと思います。



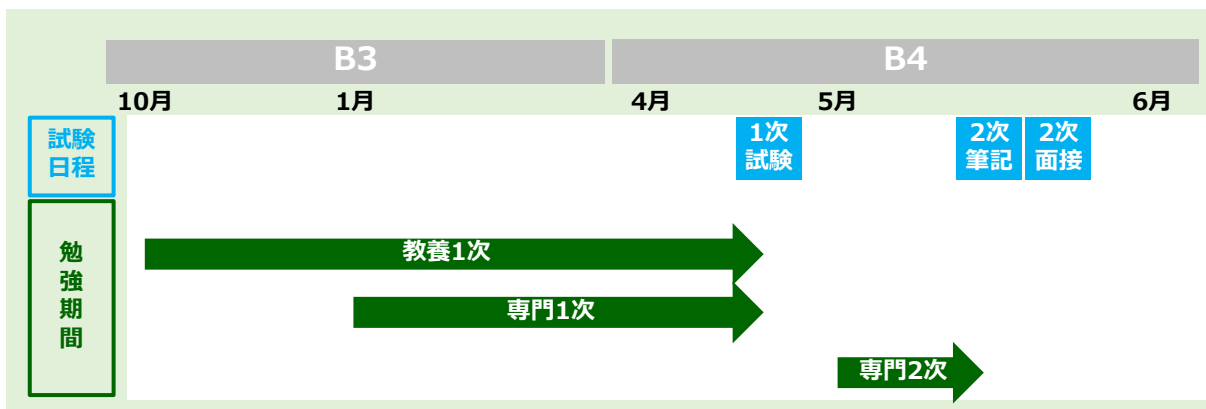
# No.5 サウナー

区分：化学・生物・薬学（大卒程度）

合格年度：2022年度

大学：千葉県/薬学部/生命創薬科学科

## ● 勉強スケジュール



## ● 各試験の勉強量バランス

教養 35	専門 50	論文 10	面接 5
----------	----------	----------	---------

国家総合職試験は専門試験の配点比率が大きいので、専門試験をやや重視しました。教養試験の勉強は大学3年生の10月から少しずつ始めました。専門試験に関しては、1次は3年後期の期末試験が終わってから、2次は1次試験の合格発表後に始めました。政策論文は東京都も併願していたので、4月から始めました。

## ● 試験結果

席次：上

英語加点：あり（15点）

## ● 利用して良かったもの

- ・ 『スーパー過去問ゼミ』
- ・ 『薬剤師国家試験対策参考書』
- ・ 『知っておきたい有機反応100』



### 成功談

試験専門委員の研究に関する分野を重点的に勉強していたので、専門試験で高得点を取ることができました。

### 失敗談



人事院面接が2次筆記の2日後で、ほとんど対策が取れませんでした。早くから面接対策をしておくべきでした。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

教養1次は25点を目標にし、判断・数的処理と文章理解と自然科学と時事のみ対策を始めました。判断・数的処理と文章理解は『スーパー過去問ゼミ』を2、3周解きました。自然科学は大学受験で使用した参考書で復習しました。特に化学・生物・薬学区分は専門1次の必須問題にもセンター試験レベルの問題が出るので、力を入れて対策すべきです。時事問題は、『日経キーワード』を隙間時間に読んでいました。

### 専門1次

(基礎物理化学・基礎無機化学、有機化学、分析化学・薬化学、薬剤学・衛生化学、生化学・分子生物学、細胞生物学(形態学を含む)・放射線生物学)

専門1次は25点を目標にして勉強しました。必須問題の勉強法は上記の通りです。選択科目は5~6科目から30問選択し解答するので、過去問を見て解けそうな科目に絞り勉強しました。

### 専門2次

(分析化学、薬剤学)

専門2次は『薬剤師国家試験対策参考書(青本)』と過去問をひたすら解きました。薬剤学に関しては問題作成者がDDS(ドラッグデリバリーシステム)の研究をしていたので、DDSのトレンドを押さえておくといと思いました。今年はmRNAワクチンの話が出るとヤマを張っていたので、ラッキーでした。

### 政策論文・政策討議

政策論文は『小論文のバイブル』と過去問を使用しました。まず、『小論文のバイブル』で重要テーマと小論文の書き方を学び、時間配分と文字数を意識して過去問に取り組みました。抽象的なテーマも多いので、まずは問題文を読み込み、何が問われているかを明確にし、3つの資料を使って自分の主張を確立・補強させることを意識しました。

### 人事院面接

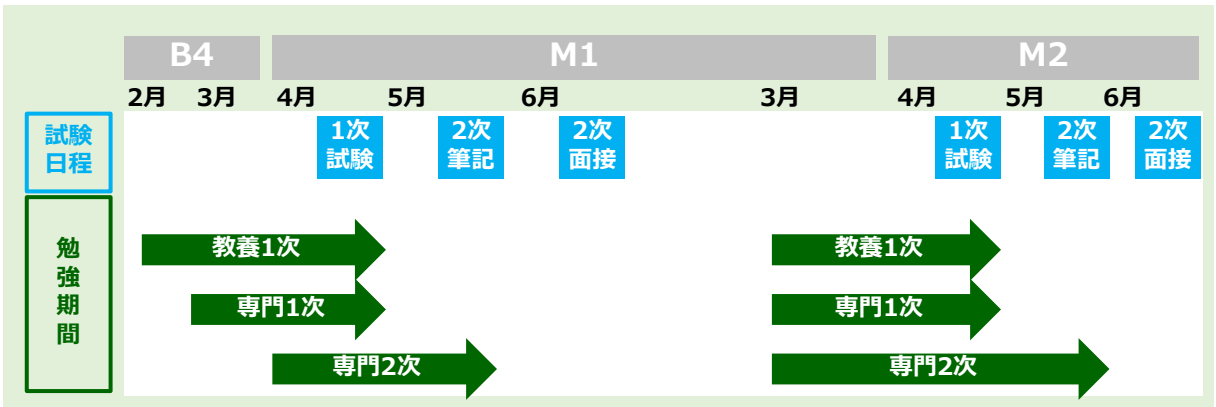
人事院面接は面接カードを深掘りする形で質問されると聞いていたので、面接カードはエピソードを事細かに書くのではなく、最低限の内容のみ書き、深掘りしてもらおうようにしました。面接では笑顔を中心掛け、相手の目を見て話すという基本的なことを意識しました。



# No.6 黒笛

区分：化学・生物・薬学  
 合格年度：2022年度（院卒者）  
 大学：東京都/工学系研究科/化学生命工学専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 50	専門 30	政策 討議 10	面接 10
----------	----------	----------------	----------

M1で大卒区分、M2で院卒者の試験に合格し、それぞれ独学で臨みました。教養の対策を重点的に行い、時間を測りながら過去問を解く練習をしていました（試験時間が短いのでスピードも大事）。専門対策は大学院の研究の合間や通学途中に行い、半分の点数が取れたら御の字ぐらいで気楽に対策していました。

## 試験結果

席次：中

英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- ・『スーパー過去問ゼミ』
- ・『技術系スーパー過去問ゼミ』
- ・大学院入試対策用の市販問題集



### 成功談

大学で専攻していた分野と試験科目がほぼ共通していたため、大学の授業プリントや問題集の振り返りがそのまま専門試験対策になりました。

### 失敗談



人事院から過去問を取り寄せたのが試験の直前になってしまい、形式や傾向に慣れることができませんでした。早めに取り寄せましょう。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

『スーパー過去問ゼミ』の全巻を用意して対策しました。1問あたり5分以内に解けなかったらすぐ解答を見て、1問に拘りすぎず速く解くコツをつかむよう意識しました。また『国家総合職教養試験過去問500』を使って1年分をセットで解く練習も行い、時間配分や解く順番を決めました。人文科学や社会科学など、苦手分野の問題は1~2分で悩みすぎず答えを決めるようにして、他の問題に時間を割けるよう工夫しました。

### 専門1次

(数学・物理、基礎物理化学・基礎無機化学、物理化学・無機化学、有機化学、工業化学・化学工学、分析化学・薬化学)

『技術系スーパー過去問ゼミ』の工学に関する基礎と化学の2冊を用意して対策しました。試験では6科目を選択していますが、分析化学・薬化学の問題は1~2問しか解いていません。他の5科目が本命で、正解できないような問題があった場合は避けて分析化学の解ける問題で補うという作戦でした。

### 専門2次

(無機化学、有機化学)

専門である有機化学は、大学院入試の振り返り程度の対策をしました。もう1科目として分析化学と無機化学を対策しました(科目と同じ名前の授業を大学で履修していたため)。試験時間は十分あると思っていたので、忘れていたら解けない大事な公式・法則など確認を重視して対策を行い、過去問演習は傾向をつかむ程度しか行いませんでした。

### 政策論文・政策討議

政策論文(大卒程度)も政策討議(院卒者)も、過去問を少し確認しただけでちゃんとした対策は行いませんでした。私は同じ専攻内で公務員を目指している人が1人も居なかったこともあり情報不足でしたが、大学生協が主催している添削講座などの価値に気づいて利用しておけばよかったなと反省しています。

### 人事院面接

面接カードは、丁寧に読みやすい字で書き、一度読んだだけでも理解できるような言葉選びを心がけました。笑顔で明るく話すことに関しては、普段の接客バイトでの経験が活かされたと思います。答えづらい質問が来たときでも、自分が伝えたいキーワードをいくつか用意しておくとう頭が真っ白にならずに済むと思います。





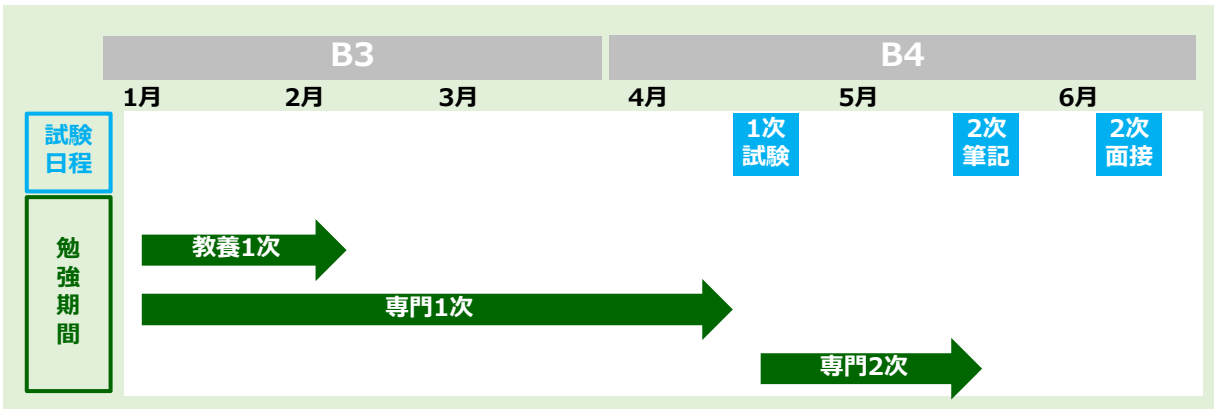
# No.7 珈琲

区分：農業科学・水産（大卒程度）

合格年度：2022年度

大学：東京都/農学部/国際開発農学専修

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 10	専門 70	論文 10	面接 10
----------	----------	----------	----------

1月から勉強を始め、ほとんどの勉強時間を専門の勉強に割きました。教材を買って独学でやりました。教養は判断推理と数的処理の両方をやる予定でしたが、専門の勉強が終わらず、判断推理だけやることになってしまいました。

## 試験結果

席次：上  
英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- ・『新スーパー過去問ゼミ 農学・農業』
- ・『標準判断推理』



### 成功談

専門2次では、たまたま大学の授業でやっていたところから出題されました。試験範囲の授業が開講されている場合は取っておいて損はないと思います。



### 失敗談

1次の専門の点数はあまりよくありませんでした。もう少し前から暗記しておけばよかったと思います。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

教養は判断推理のみ参考書で勉強しました。推理や暗号の問題は今までやったことがなかったのでやっておいてよかったなと思います。私は数的処理と英語が得意だったので対策はしなかったですが、本番はここで点数を稼げました。逆に歴史や倫理、政経の問題は全て間違っていました。自分の得意分野で点数を取り、判断推理で少し稼ぐというのがいいのかなと思います。

### 専門1次

(農業科学、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、土壌肥科学・植物生理学)

専門は(農業科学には参考書は一種類しかないと思うのですが)参考書1冊をノートにまとめながら1周、単元を絞ってノートを見ながらもう1周やりました。また通学の際にも参考書を読んで1周しました。そして過去問を5年ほどやりました。

### 専門2次

(作物学、園芸学)

作物学、園芸学、育種遺伝学に絞って参考書で復習したのち、過去問を5年ほどやりました。やっていくうちに育種遺伝学の勉強が間に合わない気がしていたのですが、念のため候補を3つにしておき、当日の問題を見て2つを選ぶことにしていました。

### 政策論文・政策討議

2回過去問を解いて、部活の先輩に添削してもらいました。大学で文章の書き方の授業を取っていたので、それを参考にしました。参考書が何かでいいので、論文の書き方は学んでおくといいかもしれません(理系の方は特に?)。また時間を計って解く練習はしたほうがいいと思います。対策をする人が少ないので、しっかりやれば差をつけられると先輩から聞きました。

### 人事院面接

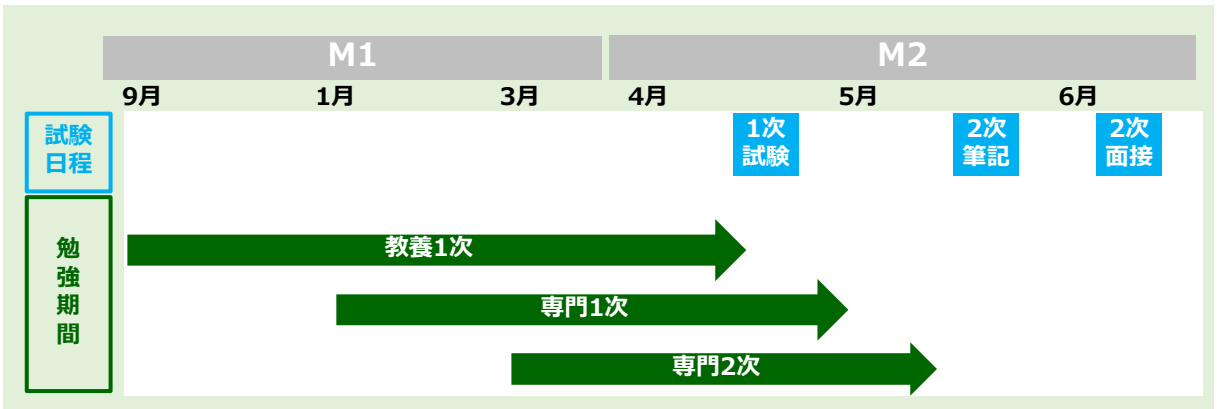
面接は民間就活で慣れていたので、志望動機の整理だけやりました。



# No.8 ベル

区分：化学・生物・薬学（院卒者）  
 合格年度：2022年度  
 大学：東京都/創造理工学研究科/地球・環境資源理工学専攻

## ● 勉強スケジュール



## ● 各試験の勉強量バランス

教養  
30

専門  
60

面接  
10

教養は数的処理を中心に、参考書や過去問を繰り返し解きました。専門科目は、私は学部の専攻と全く一致していなかったので一番力を入れました。基本的には、図書館で本を借りるなどしてすべて独学でした。面接は学校の就職相談室で数回面接練習をしました。

## ● 試験結果

席次：中  
 英語加点：あり（25点）

## ● 利用して良かったもの

- ・『スーパー過去問ゼミ 化学』
- ・過去問（総合職）



### 成功談

最初は教養の数的処理が苦手でしたが、あきらめずコツコツ演習を重ねることで、本番では目標点を取ることができました。



### 失敗談

専門科目が学部の専攻と全く一致していないにもかかわらず、取り掛かりが遅かったため年明けから必死に勉強して何とか間に合いました。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

数的処理の対策に一番力を入れました。畑中敦子先生の参考書や過去問を使用しました。毎日制限時間を決めて、いくつかの問題に取り組みました。問題演習を継続することで解答のパターンを身に付けることができました。文章理解は、直前期に過去問に取り組みました。時事問題は、『速攻の時事』を隙間時間に読んでいました。

### 専門1次

(数学・物理、基礎物理化学・基礎無機化学、物理化学・無機化学、工業化学・化学工学、生態学)

自身の専門と全く一致していなかったため、暗記でカバーできる・高校までの知識が生かせる、対策が間に合いそうな科目に絞って勉強しました。最初に過去問の傾向をつかんで、頻出分野を大学の図書館で借りた教科書・参考書で勉強しました。過去問演習が一番大事だと思います。

### 専門2次

(生態学、化学工学)

1次試験と同様にまずは過去問の傾向をつかみました。生態学は、学校の図書館で借りた教科書を何度も読み返して暗記しました。化学工学は、基礎的な参考書の例題を繰り返し解きました。1次試験よりもレベルはかなり上がるため、計画的に勉強を進めることが大事だと思います。

### 政策論文・政策討議

政策討議の対策はほとんどしませんでした。レジユメの構成を考えておいたり、試験の流れを把握しておきました。

### 人事院面接

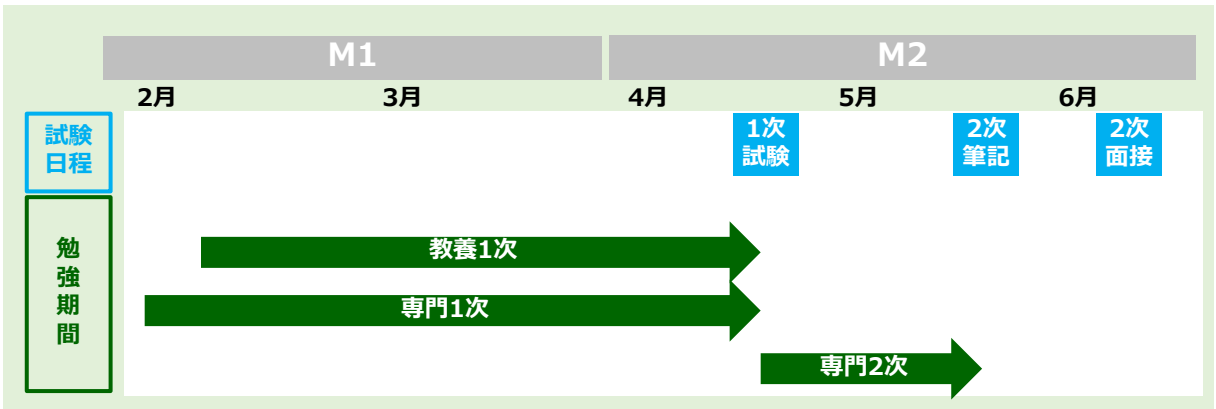
面接の練習や面接カードの添削を、学校の就職相談室・実際に国家公務員として働いている友達にしてもらいました。入退室のマナーや、想定質問などはYouTube・『せんせいの独学公務員塾』というサイトも参考にしました。ある程度の準備や頭の整理も大事ですが、本番はありのまま臨みました。



# No.9 御朱印

区分：農業科学・水産（院卒者）  
 合格年度：2022年度  
 大学：京都府/農学研究科/生物資源経済学  
 専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 30	専門 50	政策 討議 10	面接 10
----------	----------	----------------	----------

筆記試験については過去問で傾向をつかみ、大学の講義の教科書や市販の参考書などで学習しました。政策討議や面接については、大学のゼミや民間就活で自分の考えををわかりやすく伝えようとしたことが主な対策であり、公務員試験に向けて特別な対策はあまりしていませんでした。

## 試験結果

席次：上

英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- ・過去問
- ・『速攻の時事』
- ・『食料・農業・農村白書』



### 成功談

専門試験では幅広い科目を勉強したことで、試験本番では問題を見た上で得点が取れそうな科目を選択することができました。

### 失敗談



本番では教養試験の数的処理に時間をかけすぎました。わからない問題はあきらめて他の問題を解ききることが大事です。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

勉強による得点上昇が最も見込めるのは時事問題だと判断したので『速攻の時事』を読みこんでいました。また、数年分過去問を解き、時間配分を確認していました。その結果、問題番号順に解くのではなく、後半の知識問題を先に素早く解き、数的処理に時間をかけられるようにしました。

### 専門1次

(土壌肥科学・植物生理学、経済学、農業資源経済学、畜産一般)

過去問を見ると、『食料・農業・農村白書』からの出題が多かったので、それを定期的に取り返していました。専攻内の科目はもちろん、併願先の地方公務員農業職の試験に必要な専攻外の科目も勉強していました。大学の教科書を中心に、高校の生物の教科書や大学の図書館で借りた本で勉強しました。

### 専門2次

(農業資源経済学、食料政策・農業政策)

1次試験とは異なり、この2科目のみに注力しました。具体的には『農業経済学 第5版』や『食料・農業・農村白書』を読み返しました。また、過去問を5年分見ると、似たようなテーマから出題されることも多かったため、それらは逃さないよう重点的に勉強しました。

### 政策論文・政策討議

大学のゼミで議論する機会があったのでそれが間接的な対策になっていたと思います。試験当日に政策討議前にレジユメを作るのですが、その際に時間が足りず焦った記憶があるので、議論の対策だけでなく、制限時間内に見やすくわかりやすい資料をつくる練習をしておくともいいかもしれません。

### 人事院面接

民間就活で面接の経験をしていたこともあり、特に苦手意識はありませんでした。人事院面接直前に面接カードの添削や模擬面接を大学のキャリアセンターの方にお問い合わせしました。エントリーシートの添削や面接の経験がない方は、友人や先輩など他の人にみてもらうことで、客観的な意見を得られるのでおすすめします。



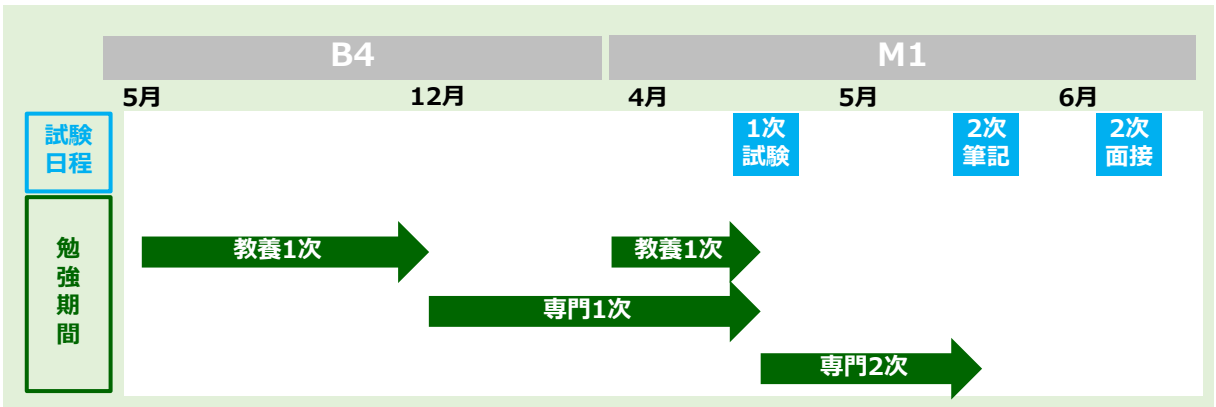
# No.10 カスミソウ

区分：農業科学・水産（大卒程度）

合格年度：2022年度

大学：北海道/農学院/農学専攻

## 勉強スケジュール



## 各試験の勉強量バランス

教養 20	専門 60	論文 10	面接 10
----------	----------	----------	----------

研究活動で忙しかったこと、また受験区分の教材が市場に出回っていなかったことから、予備校の教材を使って自分で効率よく勉強を進めることを意識していました。政策論文・人事院面接は直前期しか対策していませんでした。

## 試験結果

席次：上

英語加点：あり（25点）

## 利用して良かったもの

- ・新聞
- ・『農学基礎シリーズ』



### 成功談

早い段階で基礎能力試験の知能分野をある程度解けるようにしておいたので、1次試験の直前に見直すだけで問題ありませんでした。

### 失敗談



2次試験の勉強のスタートが遅くなってしまいました。もう少し余裕を持って勉強スケジュールをたてるべきだったと反省しています…。

## ● 各試験の具体的な対策

### 教養1次

まず過去問に目を通して勉強量と点数が比例しそうな分野を確認し、そうでない分野の問題は勉強しないという判断をしました。私の場合、文章理解、判断推理、数的処理、資料解釈、時事は対策しましたが、残り当日の運に任せました。大学受験時の知識が残っていたこともあり結果的には合格することができましたが、ぎりぎりの点数だったのでこの方法はあまりオススメできないかもしれません…。

### 専門1次

(作物学、園芸学、育種遺伝学、昆虫学、土壌肥科学・植物生理学)

I部の必須問題とII部の選択問題については、III部の選択問題と内容に重複する部分があったため、III部の選択した5科目を重点的に勉強しました。自分の専門分野と関係しているのが土壌肥科学・植物生理学のみだったので、それ以外の科目は予備校のテキストや市販の参考書、過去問などを使って勉強をすすめました。

### 専門2次

(作物学、園芸学)

専門2次は2科目のみの解答で良いですが、自分が苦手な分野の問題が出た時のリスクを考え、上記2科目に加え昆虫学も勉強していました。本番では作物学と園芸学を選択し解答しましたが、年によっては昆虫学の方が点数が高い場合もあったので、この方法がベストだったと思います。

### 政策論文・政策討議

予備校が開催していた模試で数回練習したことがあったため、直前期まで特に何もしていませんでした。前日と当日に答案の構成を確認する程度でしたが、出題されたテーマが身近な話題だったのもあり、比較的いい成績をいただくことができました。

毎朝新聞を読んで時事問題へのアンテナを張っていたのもよかったと思います。

### 人事院面接

12月ごろから対策をしておくべきと周りから言われていましたが、実際には1次試験の合格が分かってから大急ぎで取り組みました。

対策としては研究室の先輩や同じ公務員試験を受ける友だち、大学の先生などをお願いをし、模擬面接をしていただきました。

